

長野広域連合B焼却施設建設事業に係る令和元年度事後調査報告書の概要について

3 長野広域連合B焼却施設建設事業

(1) 事業の概要

| | |
|----------|--|
| ① 事業者 | 長野広域連合 |
| ② 事業実施区域 | 千曲市 |
| ③ 事業の内容 | 廃棄物焼却施設の建設 |
| ④ 事業の規模 | 処理能力 100 t / 日 |
| ⑤ 条例該当 | 第1種事業：ごみ焼却施設 処理能力 4 t / 時以上 (96 t / 日以上) に該当 |
| ⑥ 関係地域 | 長野市及び千曲市 |

(2) 事業の経過

| | |
|--------|--------------|
| H24. 2 | 環境影響評価方法書公告 |
| H26. 9 | 環境影響評価準備書公告 |
| H27. 4 | 環境影響評価書公告 |
| R 1. 6 | 対象事業着手報告書の提出 |

(3) 事後調査報告書の概要

- 令和元年6月に工事着手。令和元年度は、造成工事、地盤改良等の準備工事、掘削工事等を実施。工事中における水質、水象、動物の調査結果等を報告。

○ 水質

- ・地下水質 (pH) について、掘削工事期間及びその前後の期間 (R1. 11~R2. 3)、対象事業実施区域内南西側及び北東側の2地点で毎日測定。

| 調査地点 | 掘削工事前平均値① | 掘削工事中平均値 | 掘削工事後平均値② | pH 差②-① |
|------|-----------|----------|-----------|---------|
| 南西側 | 6.46 | 6.48 | 6.54 | 0.08 |
| 北東側 | 7.03 | 7.15 | 7.18 | 0.15 |

- ・2地点とも pH に大きな変化はなく安定して推移しており、「現況の地下水質を著しく悪化させない」という環境保全目標を満足。

○ 水象

- ・地下水位について、掘削工事期間及びその前後の期間 (R1. 11~R2. 3)、対象事業実施区域内南西側及び北東側の2地点で毎日測定。

| 調査地点 | 掘削工事開始日 (標高m) | 掘削工事終了日 (標高m) | 水位差 (m) |
|------|---------------|---------------|---------|
| 南西側 | 351.42 | 351.28 | -0.14 |
| 北東側 | 351.14 | 351.00 | -0.14 |

- ・調査期間を通して急激な地下水位の変化は見られなかった。地下掘削部は ECW 工法 (ソイル柱列壁等による山留工法) 及び薬液注入による底盤止水工法を採用したことにより、「地下水の揚水により、地域住民の生活環境に著しい影響を与えない」という環境保全目標を達成。

○ 動物 (カタマメマイマイ)

- ・ナミギセルを対象とした調査の中で、新たにカタマメマイマイの生貝等を確認したため、工事着手前の H29 に近隣の生息適地へ移殖。
- ・8月に移殖地を中心に生息の可能性が高い草地等で調査を実施。
- ・生貝1個体、死貝3個体を確認。工事による改変後も移殖地周辺で生息しており、生息場所が保全されていることを確認。